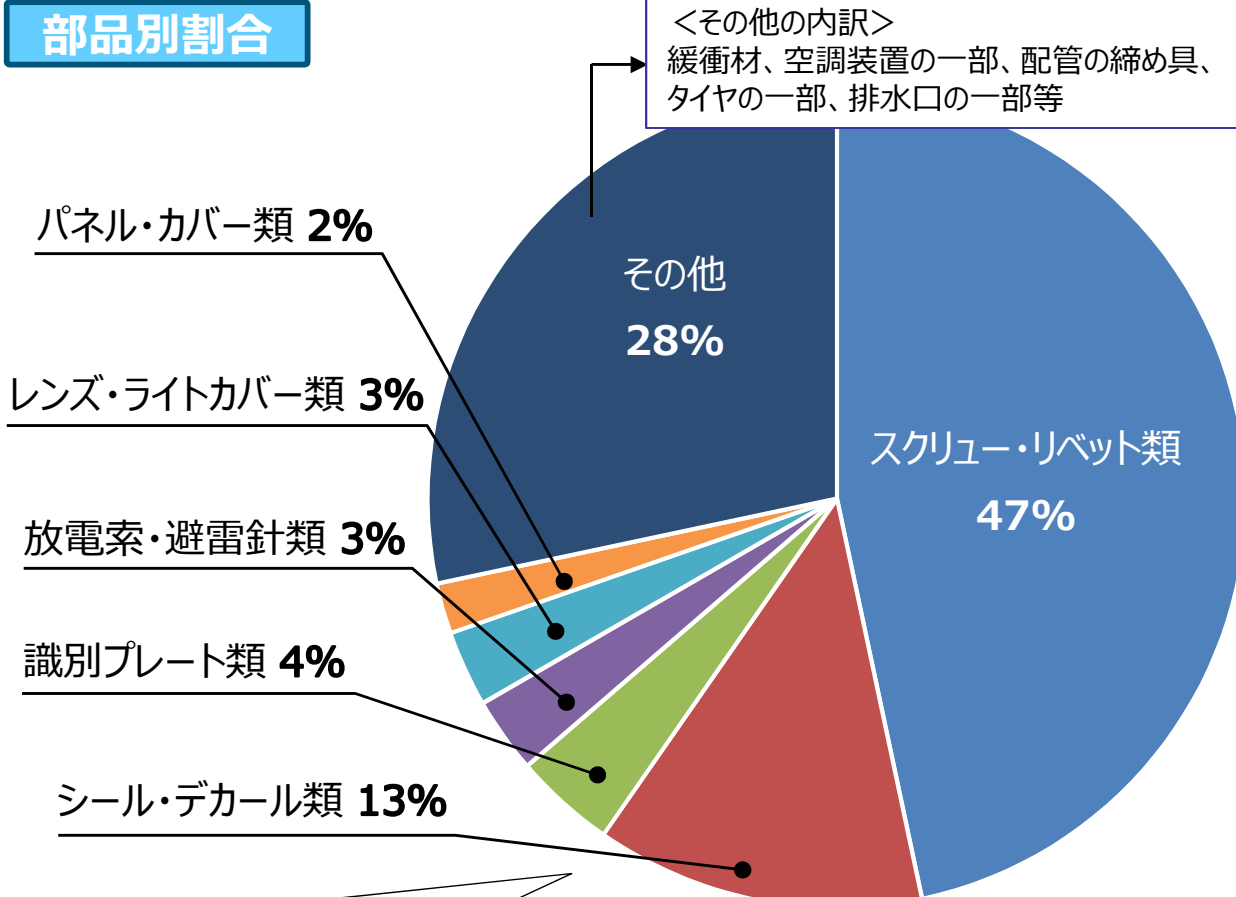
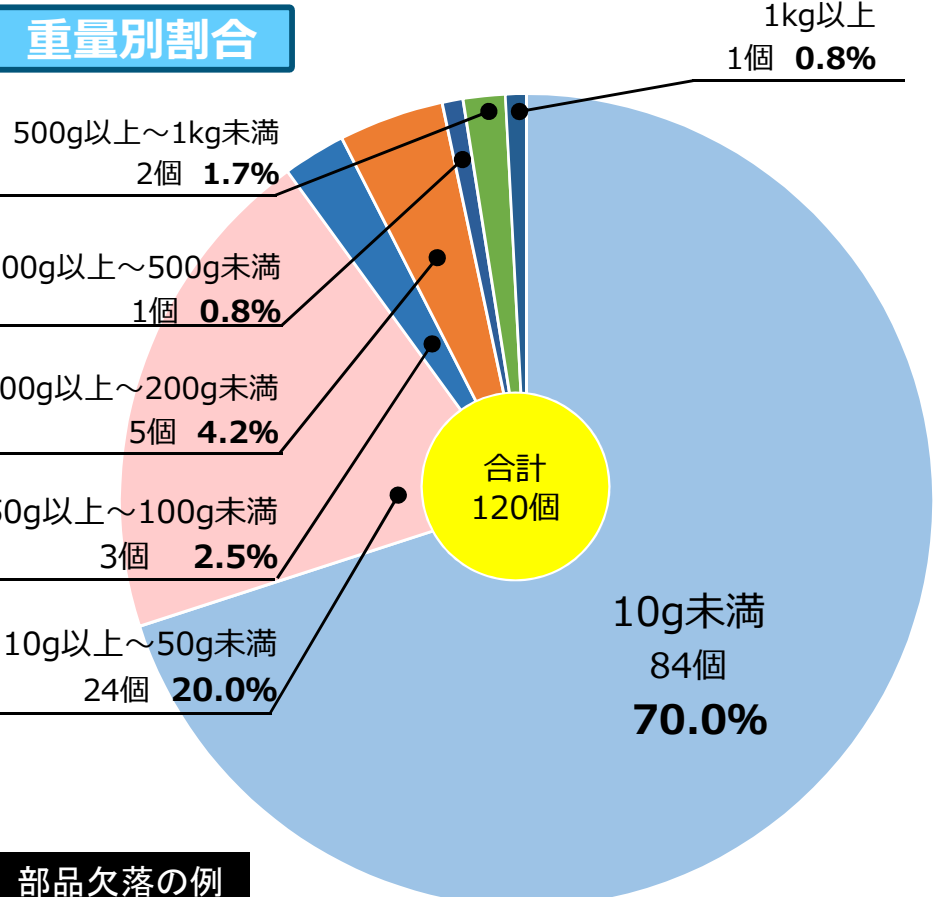


# 2022年4月～5月における部品欠落の重量別・部品別割合

- 部品欠落の報告制度により、羽田空港を含む7空港において2022年4月～2022年5月に報告された欠落部品の総計は120個であり、そのほとんどは100g未満、約7割は10g未満である。
- 減便が発生していた当該期間においても、駐機中の機体を含めて徹底的な点検等が実施されている。また、欠落部品の多数を占める10g未満の部品についても、各航空会社において、落下物防止対策基準に従って、欠落事例を分析し必要な再発防止策が進められている。



### 部品欠落の例



- 部品欠落報告の約5割はスクリー、リベット等の留め具であり、重さは1グラム～30グラム程度
- シール、デカル類の材質はゴム、プラスチック等であり、重さは1グラム～10グラム程度のものがほとんど
- 識別プレート類の材質はアルミニウムであり、重さは1グラム～7グラム程度
- 放電索、避雷針類の材質は複合材等であり、重さは9グラム～20グラム程度
- レンズ・ライトカバー類の材質はガラスで重さは150グラム～200グラム程度のものがほとんど
- パネル類の材質はアルミ等、キャップ・カバー類はゴム等であり、重さは2グラム～5グラム程度